

“教育のゲーミフィケーション”を具現化！オンライン学習教材「すらら」 岡山県初！Skype 英会話レッスンを個別学習塾「とと塾」が必修化 ～オンライン教材とジュニア向け Skype 英会話による授業をセット提供～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、オンライン学習教材「すらら」の提供、運用コンサルティングを行なっています。

この度、オンライン学習教材「すらら」を導入いただいている、個別学習塾 とと塾（所在地：岡山県倉敷市 代表：渡邊幸治）が、6月より「外国人英会話授業必修通塾コース」を新設し、岡山県で初めて、外国人によるマンツーマンの Skype 英会話授業を個別学習塾として必修化します。

今回、必修化される授業の内容は、オンライン学習教材「すらら」と、4Communication Co., Inc. のサービスを「すらら」準拠の形にしたジュニア向け Skype 英会話レッスン「おしゃべリング」との並行学習となります。

塾において、最初にアニメーション型のオンライン学習教材「すらら」を用いて自分で英語（文法）を学習し、その後、その内容に則した語彙や文法などを使い、担任となる外国人講師が一人ひとりに合わせた25分間のマンツーマン方式による Skype 英会話レッスンを行います。子どもたちも、「すらら」で学んだ英語を使って一対一で外国人講師とコミュニケーションを取ることで、予習をしっかりとできるようになるなど英語学習へのモチベーションが高まり、理解と知識の定着が進みます。価格は週1回90分で11,500円と通常の英会話教室と比較してリーズナブルなものとなっています。

これまで、とと塾ではこの英会話レッスンを中学1年生にのみ、オプションで提供していましたが、今後、新規入塾する中学生の生徒様には必修化します。現在60名いる既存の生徒様も、順次、必修に切り替えていく予定です。

【とと塾コメント】

「倉敷市茶屋町」というエリアと、「英語」という文言による検索で「とと塾」を知り、問い合わせされる方が多く、また、お遊びの英会話では身に付かない文法もしっかり身に付けられることを自塾で行うことに価値を見出し、文法と英会話の両方を身に付けられる「おしゃべリング」を導入しました。

当初は、小学生の希望される方にのみ提供をしていましたが、非常に好評だったため、他塾との差別化を目的に、中学生向けに外国人英会話授業を必修とすることにしました。

昨今、英語教育はますます強化される傾向にあり、昨年12月に文部科学省より発表された英語教育改革実施計画において、小学校では開始時期が5年生から3年生に前倒しされ、5年生からは正式教科となり、中学校では授業を原則英語で行ない、高校では発表、討論、交渉といった、より高度な授業内容となるよう推進されていきます。

これに伴い、学校では高度な英語指導力を備えた教師の確保が急務とされていますが、すららネットではICTを活用することで、いち早く講師の問題を解決した授業パッケージを学習塾に提供します。

■ 「個別学習塾 とと塾」 概要

設立：2013年7月1日

住所：倉敷市茶屋町630

開校時間：14時30分～22時（月～金）※通常時

■オンライン学習教材「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【ユーザー数】 25,000名（2013年7月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、オンライン学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーションの要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：11,325万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：オンライン学習による教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL：<http://surala.jp/>